


	【放送日時】	2017年2月5日(日) 13:50~15:00 <総合>
	【タイトル】	ドラマ“赤ひげ”の魅力～医療ドラマのパイオニアは語る～
	【放送番組】	・金曜ドラマ「赤ひげ」第19回 ひとり (1973年3月2日 総合 59分)
	【出演】	あおい輝彦 (俳優)
	【内容】	1972年にNHKで始まった連続ドラマ「赤ひげ」。この2月で没後50年を迎える作家・山本周五郎の小説「赤ひげ診療譚」が原作で、時代劇でありながら医療の本質に迫る現代的なテーマが反響を呼んだ医療ドラマのパイオニアともいえる作品。今回は倉本聰さんが脚本を担当、「医師は患者にどこまで尽くすべきなのか」を描いた第19回「ひとり」を紹介、当時の出演者あおい輝彦さんとともに、その魅力について語りつくす。

	【放送日時】	2017年2月12日(日) 13:50~15:00 <総合>
	【タイトル】	タンチョウとともに生きる
	【放送番組】	・NHK特集「鶴になった男～釧路湿原・タンチョウふれあい日記～」(1987年10月4日 総合 45分) ・地方発ドキュメンタリー「ツルとともに生きる」(2015年3月10日 総合 一部)
	【出演】	田中直樹 (お笑い芸人・ココリコ)、松本文雄 (釧路市動物園タンチョウ研究員)
	【内容】	国の特別天然記念物タンチョウ。この時期釧路湿原ではエサを求めて人里に顔を見せる冬の風物詩だ。かつては明治以降の開発と乱獲で絶滅の危機にあったが、釧路の人々が、冬季のエサ不足を補うエサやりなど、官民一体の地道な保護活動を行った結果、現在はおよそ1800羽にまで増えた。番組では、タンチョウの保護に取り組むある男性を追った30年前の番組などを紹介、タンチョウ保護のこれまでと今後を語り合う。

	【放送日時】	2017年2月19日(日) 13:50~15:00 <総合>
	【タイトル】	夫婦 最後までふたりで
	【放送番組】	・NHK 特集「どんなご縁で～ある老作家夫婦の愛と死～」(1988年10月23日 総合 45分) ・クローズアップ現代「妻の死～新藤兼人・乙羽信子夫妻の最後の日々～」(1995年3月7日 総合一部)
	【出演】	イルカ(シンガーソングライター)
	【内容】	年老いた夫婦が二人きりで人生の最後に向き合うケースが増えている。65歳以上の高齢者がいるおよそ2372万世帯のうち、夫婦だけの世帯はおよそ747万世帯と20年前の2倍以上。各地の“終活”イベントに、参加する夫婦も多い。最後の日々を最愛の人とどう過ごすのか?認知症の妻の介護に人生の最後を捧げた老作家、死に行く妻の女優人生を飾るためあえて過酷な映画作りに挑んだ映画監督、二組の姿から夫婦とは何か考える

	【放送日時】	2017年2月26日(日) 13:50~15:00 <総合>
	【タイトル】	二・二六事件の実像～近代日本最大のクーデター～
	【放送番組】	・NHK 特集「戒厳指令“交信ヲ傍受セヨ”～二・二六事件秘録～」(1979年2月26日 総合 80分 短縮)
	【出演】	筒井清忠(帝京大学教授)
	【内容】	81年前の昭和11年2月26日。陸軍の青年将校らが総理大臣官邸などを襲撃した「二・二六事件」。以後軍部の政治関与が一層強まることとなった歴史の大きな転換点だが、いまでも多くの謎が残る。事件から40年あまり経って発見された青年将校たちの通話を録音したレコードを元に当時の関係者を取材、大きな話題を呼んだ1979年のNHK 特集をとおして、識者とともに「二・二六事件」の実像とは何か改めて見つめる。